



Medical Management Specialist

# JMMS 5月号

2013  
6  
月号

●発行：一般社団法人  
日本医療経営実践協会  
(JMMPA)  
〒101-0033 東京都千代田区神田富本町  
4-14  
神田平成ビル7F  
●編集：日本医療企画  
●毎月1回発行

お問い合わせ先 一般社団法人 日本医療経営実践協会 事務局 TEL:03-5296-1933 FAX:03-5296-1934 http://www.jmmpa.jp/

## 特集◆金融機関における医療経営士への積極的取り組み

# 「医療経営のスペシャリストを養成したい」という 業界ニーズを背景に金融機関の医療経営士が急増!

第1回「医療経営士3級」資格認定試験実施から3年ちかくが経過し、医療機関外へも広がりを見せている。特に金融業界からの注目度は高く、正会員数は約3000人(6月現在)にのぼる。各支部が開催する研究会などにも、金融機関の方の出席が目立っており、その関心の高さがうかがえる。金融機関は、医療機関の安定経営を支えることで地域医療の充実に貢献しているため、医療経営のスペシャリストが増えることは、医療機関にとっても心強いことであろう。そこで今号では、金融機関における医療経営士の取り組みについて特集する。

金融機関の3級受験者が全体の半数以上を占める

まず、3級資格認定試験の受験者数推移を見てみよう(図1)。金融機関勤務者の数が、第5回試験(2012年2月)から急増している。第8回試験(同年6月)では医療機関勤務者を上回り、第8回試験(2013年2月)では約半分以上を占めるまでになり、金融業界において、医療経営士が急速に広まっていることがわかる。

この背景には、高齢社会の進展に伴い成長が期待される医療・介護受験者(表裏)。

金融機関は組織として資格取得に取り組みケースが多く、これまでに16の金融機関が団体受験者(表裏)。

信託関係の構築につながる

要分野を、有望市場ととらえる金融機関の戦略が見える。この数年、医療機関を専門に担当するチームを立ち上げる金融機関が増えている。医療経営のスペシャリストを育てたい金融機関にとって、医療界特有の制度や仕組み、関連法令などの基本知識を有することができ

る医療経営士3級は、うってつけの資格として受け入れられたのだらう。

現在、協会会員が所属する金融機関は76にのぼる。なかでも特に会員数が多いのは、東京都民銀行、静岡銀行、千葉興業銀行である。

団体的に取り組み金融機関が増加

東京都市銀行では、医療経営士の資格を持った12人の職員で医療・福祉事業部を組織し、医療機関への最新情報の提供から融資提案・契約までを一括して担当する。医療経営の知識と経験を有する専門家が担当する

こと、医療機関との信頼関係の構築につながる

2級取得への挑戦

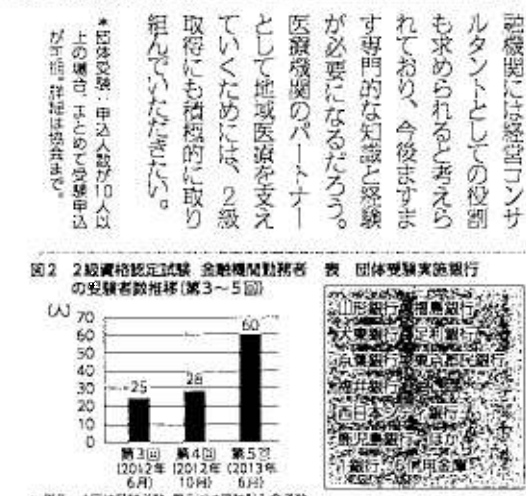
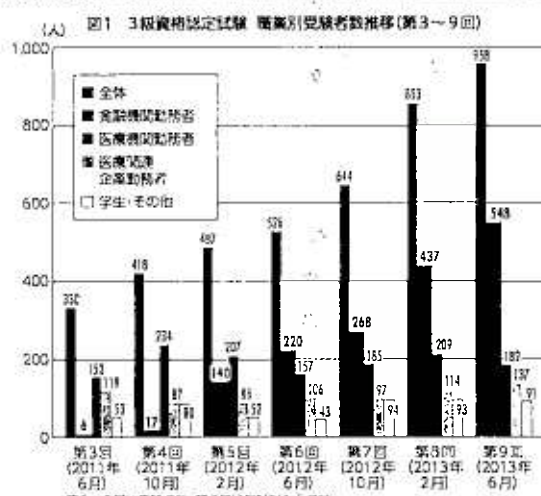
2級資格認定試験の受験者数は、3級同様増加しているものの(図2)、受験者数全体(1040人)の1割程度に留まっている。

今後、期待される

2級取得への挑戦

2級資格認定試験の受験者数は、3級同様増加しているものの(図2)、受験者数全体(1040人)の1割程度に留まっている。

今後、期待される



**第2回全国医療経営士実践研究大会 in 福岡**

地方発! 「医療経営士がつくる"新"病院経営モデル」  
—医療大変革期にむけた地域医療活性化と連携システムの構築—

開催日時: 2013年11月16日(土)・17日(日)  
会場: [本会場] 都久志会館(福岡市中央区天神4-8-10)  
[懇親会] 福岡ガーデンパレス(福岡市中央区天神4-8-15) \*1日目終了後

大会委員長: 橋爪 卓(日本医療経営実践協会九州支部支部長、保健医療経営大学理事長)  
連絡先: 参加申込受付中! 詳細はホームページをご覧ください。http://www.jmmpa.jp/

問い合わせ [運営事務局] 株式会社日本医療企画 教育・出版事業本部 ☎03-3256-2863 FAX: 03-3256-2809



特集◆金融機関における医療経営士への積極的取り組み

金融機関の担当者や合格者に聞く！

医療経営士資格取得の目的とその活用法

医療・介護分野を成長産業としてとらえる金融機関の多くは、独自の受検対策講座や社内勉強会を開き、資格取得に取り組んでいる。地域医療への貢献を目指す金融機関のそれぞれの担当者や合格者に、受験のきっかけや合格後の成果についてうかがった。

支部研究会で得た知識を活かし 医療機関の後方支援に取り組みたい

三井住友銀行 田島義彦さん

自分の知識を測るために 医療経営士を受験

医療を担当するチームに所属しながらも、医療経営については本を読んだり、取引先の方とお話するなかで得た表面的な知識しかありませんでした。病院で働いた経験がないので、当然といえ

は当然ですが、医療の現場を深く知らないという点に不安を感じていたので、そんなときに偶然インターネットで知ったのが医療経営士です。自分の知識がどの程度なのかを測る客観的な指標として、非常に適していると考え、受験を決めました。第2回3級試

験に合格し、その後、2級を取得。同じ部署から7人の合格者(2級4人、3級3人)が誕生しています。

研究会に参加してさらなる知識向上を図る

関東支部の研究会や2級セミナーによく参加しています。研究会では参加者同士の議論を善し、現場の生の声を聞くことができます。自分と異なる意見は大変参考になり、たとえ、興味がないテーマであっても何かしら得るものがありますので、毎回スケジュールを調整して積極的に参加するようにしています。



田島義彦さん 三井住友銀行(医療) 公共法人部副部長(医療) 公共法人部副部長(介護) 公共法人部副部長(福祉)

資格取得後、一番変わったのは、病院の院長や事務長とのコミュニ

ニケーションが以前よりスムーズになったことです。研究会でたくさんのお話を仕入れていきますので、取引先が何を求めているかを理解しながら、金融面だけ

庫内の資格奨励制度に採用 今後合格を目指す職員をサポート

三井住友銀行 青澤輝彦さん

医療経営士について 体系的に学べる資格

三井住友銀行は伊豆半島と静岡県東部地域を中心に、本土支店店舗を展開し、地元では『さんしん』の愛称でも知られている地域に密着した金融機関です。

私はサポート営業部法人サポート課に所属し、中小企業を経営面からサポートする業務と営業店への情報提供に携わりながら、当金庫が成長分野と位置づける医療・介護サービス

だけでなく、経営面も考えた提案を致謝するようになりました。金融機関にとって医療分野は今後ますます重要になっていきます。医療経営士として常に学ぶ姿勢を忘れずに、実践方向上に励みながら、医療機関から多くの信頼を得られるように医療経営士としての活動に取り組みたいと考えています。

なげる仕組みづくりをしています。

医療経営士を知ったのは、現在の部署に配属された2011年の夏頃です。当時は医療分野に関する知識の習得・向上の必要性を感じており、医療経営を体系的に学べる教材がないか模索していたのですが、金融機関の業界紙に掲載されていた『銀行員が医療経営士資格を取得した』という記事を見て、受験を決めました。

資格奨励制度に推薦

試験合格に向けた学



青澤輝彦さん 三井住友銀行(医療) 公共法人部副部長(医療)

習では、これまであやふやだった医療経営に関する知識が整理され、3級合格後は、初対面の医療機関の方とも会話が弾むようになりました。効果を実感した私は、当金庫の教育担当者に相談し、医療経営士を庫内の資格奨励制度に加えてもらうことができました。

これまで当金庫の職員の多くは、医療の専門知識に不安を感じていました。これまで当金庫の職員が講師となり社内勉強会を開催

その結果、職員の間で資格の認知度が上がり、資格取得に対して報酬金や会員年会費が支給されるようになったこともあり、合格を目指す職員が増えました。2012年からは大変設立しています。

職員が講師となり、若手職員向けの社内勉強会を開催していく予定です。資格取得の過程で得た知識をフィールドバックしながら、院長や事務長と同じ目線で経営を支援できる人材の育成を目指しています。

職員の資格取得を促し コンサルティング機能を充実させた

福岡市東区 笠原哲史さん

病院経営を支援できる 人材育成を目指す

北海道的市に本店を構える信用金庫

は、お客様一人ひとりの信頼を大切に、地域一番の金融サービスを通じて、地域社会とともに成長するこ

ミュニティバンクを指しています。現在、常勤役員数は164人、北海道の10市18町1村を営業地区に18店舗を展開しています。2012年からは取引先企業の若手経営者や後継者、経営幹部を対象に、経営ノウハウについて学ぶ「しん未来塾」を開催。次世代の経営人材をサポートしながら、地域の人づくりに貢献しています。 合格者が講師となり 社内勉強会を開催 三井住友銀行では、医療・介護の関連事業を成長分野と位置づけており、専門資格取得により、コンサルティング機能を充実させることを目的に、医療経営士の資格取得に取り組み始めました。 現在3級合格者は8人で、今後はこの8人が講師となり、若手職員向けの社内勉強会を開催していく予定です。資格取得の過程で得た知識をフィールドバックしながら、院長や事務長と同じ目線で経営を支援できる人材の育成を目指しています。



### 地域復興・経済発展に向けて 金融機関としての責務を担う

大東銀行 荒井弘行さん

#### 専門性向上のプログラムに 医療経営士試験を採用

当行のある福島県は、東日本大震災・原子力発電所事故からの復興という大きなテーマを抱えています。復興支援・産業活性化に向けた動きのなかで、金融機関が担う役割も重要になってきますが、求められる役割を果たすために不可欠なのが人材育成です。

専門知識を備え、自分たちの果たすべき役割と相手の立場を理解したうえで、適切なサポートを行うことができない人材を育てるために、内部で行っていた研修プログラムを見直すことになりました。

なかでも業務の内容が特殊であったり高度であったりするものに對しては、それに対応するツールが必要になります。医療も他

の業種とは異なるアプローチが不可欠だと考えました。

以前から人材育成プ



荒井弘行さん  
大東銀行  
総務部副部長

格をいくつか調べてみたのですが、テキストの内容などを含めて考えると、「医療経営士」が行員にとって最適であると判断し、当行の人材育成プログラムの高専専門資格試験として、3級試験を採用させていたことにしたのです。

今年の10月からスタートし、今年の2月までに2回の試験で1人の合格者が誕生しています。

医療機関との協力で地域の復興を支える

受験直前対策として、制度改正や重要トピックス等の情報を提供するなど、医療経営士を目指す行員に対しては、他の資格と比べ、手厚いサポートを行っています。

受験するからには合格してほしいという気持ちもありますが、これだけ力を入れていると明示することで、各支店に重要性を理解してもらおうというねらいもあります。

医療分野に強いことが大きなアドバンテージに

現在5支店の支店長を務めているのですが、どちらの支店にも取引先に医療法人があり、これまでも医療関連の知識の必要性は感じていました。そこに医療経営士の資格取得がマッチしたのです。

医療経営士は業界紙等でも取り上げられる機会が多く、注目度が高いと感じています。医療機関のなかでの知名度も上がっていますし、その存在感はさらに高まっていくと思います。

当行としても積極的に関わり組み、受験生、合格者をさらに増やし、「医療分野に真剣に取組んでいる」という姿勢のアピールにつなげられたらと考えています。

福島県では、地域住民の健康調査をはじめ、復興に向けて医療機関が果たす役割は非常に大きなものがあります。現地の金融機関として、当行もしっかりとサポートをさせていただきます。

現場で使える知識を持つことで見える景色が変わることを実感

緩やかな景気の回復を背景に、今後の復興需要は大きくなっていくと思われま。なかで医療機関はもちろん、さまざまな業種を支えていくことで、自分たちができる復興支援を担っていくことが必要だと思っています。

医療分野に強いことが大きなアドバンテージに

かりと興味を持って医療分野を勉強している、ということが他機関との差別化につながると思います。大きなアドバンテージになります。知識が増えてくると、病院のなかに入るときでも目につくポイントが変わってきますし、この病院はどのような戦略を考えているのか、ということもわかるようになってきます。共通言語で話せるようになるということももちろんですが、表面のことだけでなく、その裏にある病院の考え方がわかるようになる、というのが、非常に重要なことだと考えています。

医療機関が求めることの

これまで、医療機関に対しては、金融機関に対して多くの期待はして

いなかっただけではないかと思えます。融資する側・される側という関係のなかで、医療分野の細かい話を共有する必要はないわけですから。

ただ、特にこの福島では、お互いがパートナーとして、復興・経済発展という大きな巨的に向かって協力して取り組んでいくことが求められます。そう考えたときに、金融機関として医療について学んでおくことは不可欠ですし、その必要性は今後高まっていくのではないのでしょうか。

お互いの意識が変わっていくなかで、新たな関係づくりが必要となってきます。そのための手段として医療経営士の重要性を理解したうえで支店の行員にもチャンネルにしてもいいですね。



浅子尚宏さん  
大東銀行  
村木町支店・高田支店支店長  
医療経営士3級

## 医療経営士のための実践テキストシリーズ最新刊 好評発売中！ 医療経営士実践テキストシリーズ3 なるほど、なっとく医療経営 実践ポイント37 経営データの活用と金融機関との上手なつきあい方

「財務会計／資金調達」のポイントを、実務に即してわかりやすく解説！ 数字やデータの本当の意味を理解すれば、経営会議で説得力ある提言ができる！  
医療経営士2級合格に向けた強い味方！ 【医療経営士 中級（一般課題）テキスト】 8巻【財務会計／資金調達(1)】、9巻【財務会計／資金調達(2)】対応  
著者：長英一（東日本理士法人専務） ●定価：3,150円（税込） ●A5判／1冊96頁／168ページ

問い合わせ 株式会社日本医療企画 ☎03-3256-2962 <http://www.jmp.co.jp/>